



「男女共同参画の視点に立った防災ポイントBOOK」より転載

被災体験で得た教訓

pick up

避難所運営は男性？
炊き出しは女性？

避難所で何が起きた？

避難所運営が男性に偏ると、オムツや生理用品などの(物)、更衣室や間仕切り、授乳室などの(スペース)のニーズがつかめなかった。渡し方に配慮ができなかった。

責任ある仕事が男性に集中し、心身を疲労させた。一方、終わらぬ食事作りを女性が担い、過労に陥るなど、男女相互に無理を強いる場面が見られた。



熊本市男女共同参画センター編

熊本地震を経験した私たちが提案する
男女共同参画の視点に立った
防災ポイントBOOK

避難所は、地域であり家庭。多様な立場の人にどう対応するか、生きたヒントが見つかる！

「熊本市男女共同参画センター はあもにい」が発行。熊本地震の際に「女性、男性、若者(少年少女)、高齢者、障がい者、外国人、性的少数者、支援者に何が起きたのか」がアンケート調査や体験談などをもとにまとめられています。

熊本地震で得た教訓

防災や避難所運営マニュアルを作成する段階から女性の参画が不可欠。女性自身も自ら要望を声にし、積極的に関わろう。

性別にかかわらず、「自分は何がやれるのか、得意なのか」声を上げられる雰囲気作りが必要。そのためにも、普段から地域での活動や交流が求められます。



市の計画書

市の男女共同参画の取組を進める基本計画について、令和4年3月、SDGsの考え方を踏まえ

ながら、中間見直しを行いました。市HPでご覧いただけます。

男女共同参画の視点に
立った防災ハンドブック

上冊子などを参考にした
名張市版のハンドブック

冊子は、市民センターなどに置いてあるほか、市HPにも掲載中



BE YOURSELF!

「男らしく」「女らしく」ではなく、あなたらしく!

「男女共同参画」を考えるきっかけになる冊子をご紹介します 関人権・男女共同参画推進室 ☎63-7559

6/23▶29 男女共同参画週間

名張を舞台に自分らしく輝く女性を取材

pick up

なばりのキラキラウーマン

地域の資源を
次世代へつなげたい

重森 舞さん
(一社) 滝川 YORIAI
事務局長

耕作放棄地や空き家の利活用、大学生と地域資源の発掘一。赤目四十八滝キャンプ場運営の傍ら、子どもたちが地元を誇りに思えるよう、地域活性化プロジェクトの企画・運営に携わっています。ワクワクする魅力的な企画を立て、結果的に地域の課題も解決できたという姿勢で取り組んでいます。

料理は夫の方が上手ですし、5人の子どもたちも当番制で家事を担当。同居している夫の両親や近所の皆さんも強力な味方です。やりたいことはブレーキをかけずに挑戦したいですね。

子どもの笑顔が
私のエネルギー源

水口 薫さん
みんなの居場所
「こどものとなり」プロジェクト
なばり子ども食堂 代表

親から夕飯代をもらっていても、自分で買っていく場所がなくて、駄菓子屋でお菓子を買って夕飯を済ませている子どもがいると知りました。そんなとき、たまたまニュースで「子ども食堂」の活動を見て自分もやってみることにしました。

「子ども食堂」で食べることが親子の会話のきっかけになったり、親にとってもほっとできる場所になっていたりすることが嬉しいです。親に心の余裕ができると、子どもと向き合うゆとりが生まれるのだと思います。

デザインが好き!
真っすぐで熱い想い

美山 莉香さん
Rita Design
(リタデザイン) 代表

働いていたデザイン会社が経営不振となり、女性社員だけ突然解雇。面接の度に出産の予定を聞かれ、新たな就職先も見つからず…。フリーランスとなって1年ほどで子どもを授かり、子育てに専念しました。

「やっぱりデザインがしたい」と起業。子どもが3歳の頃でした。それから10年。デザインの仕事で結果を出すことはもちろん、スキルあるお母さんの力になればと、在宅ライターの雇用にも注力。子育てしながら社会とつながる場になればと考えています。

男女平等の意識を
強く持って活動を!

江南 登美さん
市内で初となる
女性の校長

大阪から名張へ帰ってきた当時、職員室には「女はお茶くみ」の慣例が残っていました。同年代の女性教職員同士で集まって、悩みや困りごとを話し合ったものです。

1991年、母校の赤目小学校で校長に。子どもたちのために学校や教育を変えたいという強い想いで取り組みました。「女性初」を周りが意識し続け、最も神経が疲れた時代でしたね。いまは、名張の女性史の聞き書きなどもしていますが、もっと、女性が活躍し輝ける世の中になってほしいと願っています。

市民に頼られる
消防士をめざして

池田 歩美さん
名張消防署

男性の隊員と同じく私も火災などの災害現場に出動します。現場で軽い資機材を渡してくれたりしますが、チームの足を引っ張らないよう、体力づくりは欠かせません。

高校生のとき、救急車で搬送された際、男性隊員ばかりで恥ずかしさや不安を感じたものです。「だったら、女の私が救急隊員になろう」と消防士に。女性の消防士は珍しくて驚かれますが、「人の命を守りたい」という気持ちや、最低限の体力があれば、間違いなく女性も消防士として活躍できますよ。

相手を想う
仕事がしたい

大和 千夏さん
東海マツダ販売(株)
名張店 営業

「この営業さんだからこの店で車を買いたい」と。そう、父が話していたのを覚えています。当時の営業担当の人は、子どもだった私にも優しく接してくれました。お客様と深くつながり、その人を想って仕事をする。そんな車の営業の仕事は私を選びました。

高額商品を取り扱うため、いかにお客様から信頼していただけるかが大切。車の困りごとがあったときに一番に顔が浮かぶような営業担当になりたいですね。そして、自分らしい働き方で人生を切り拓いていきたいと思っています。



名張市男女共同参画センター

男女共同参画つうしん

「なばりのきらきらウーマン」好評連載中! 6月で13人目

偶数月に発行。男女共同参画に関するニュースやイベントのほか、仕事、家庭、地域活動など「自分らしく」生きている女性を取材した「なばりのきらきらウーマン」が人気! 冊子は、市民センターなどに置いてあるほか、市HPにも掲載中

令和3年度に登場いただいた6人の記事を要約してご紹介します



名張市 男女共同参画ハンドブック

「分かち愛」のすすめ

夫婦円満の秘けつや夫婦NGワード集、カゾク会議お助けシート、育休制度Q&A、避難所での男女の役割など、実例を交えながら、「男女共同参画」を分かりやすくご紹介! 冊子は、市民センターなどに置いてあるほか、市HPにも掲載中

「分かち愛のすすめ」は、動画でもご紹介! ぜひ、ご視聴ください。